

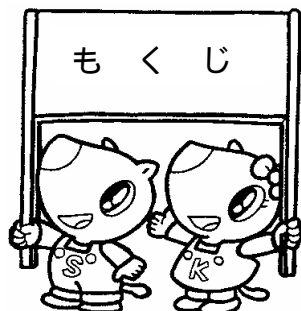
2007.10 第50号

さいきょうベンチャーレポート



株式会社シーオーテック

* P3.4.5 で紹介しています



SAIKYO

- 2. 「経営と資金繰り」
- 3. Made in ちゅうごく 株式会社シーオーテック
- 5. 周南市ビジネスサポートコーナー入居者募集
- 6. 第15回周南ベンチャーマーケットの報告
- 7. 弁理士：井上浩の知財小話

「さいきょうベンチャーレポート」は、株式会社エス・ケイ・ベンチャーズが毎月お届けするベンチャー企業情報誌です。



経営と資金繰り

西京銀行頭取 渡邊 孝夫

9月21日、22日の両日に亘り若手経営幹部の育成を目的とした「さいきょうジュニアエグゼクティブ(JE)カレッジ」を開催したところ、県内はもとより広島・北九州から39事業所42名の方にご参集いただいた。

私自身も講師として壇上に立たせていただいたが、参加された若い皆さんの熱い意欲を肌で感じる事が出来、また懇親会においては各自が積極的に他社の方々と交流している様子をつぶさに垣間見て、その前向きさに感心した。

主催者として皆さんの業務発展に何かしらお役に立てれば誠に幸甚である。

講義では、会社を運営するうえで常日頃から私が必須と感じていることのいくつかを披露したが、その一つをここに紹介させて頂きたい。

会社の倒産には過剰投資・放漫経営・不良債権(在庫)の発生等、さまざまなパターンが存在するが結果をみればどれも同じ。最後は資金繰りに行き詰まり倒産する。だから潰れないように経営することが経営者の仕事である。そして潰さないための答えは一つ、資金繰りを良くすること。その資金繰りを改善するごく当たり前の手段・方法とは、

1. 適正な売上の確保により利益を上げる
2. 固定的な経費を削減する
3. 在庫を減らす
4. 買掛金・支払手形等の支払期間と売掛金・受取手形等の回収期間のバランスをとる
5. 過大な設備投資をしない
6. 自己資本を増強する

というものである。

営業と経理は両輪であり、会社にとって資金繰りがまず大切なのである。狭義的な意味では「資金繰り」とは「経営をどうしていくか」という問題と同じである。財務諸表には1年間の経営活動の結果が記されているが、数年前と前年を比較して自社の傾向を把握することも出来る。業績が向上している会社は、経営者が財務諸表をしっかりと読み込んで、経営戦略を策定しそれを愚直に実行し、その結果を検証してそこから改善策を出しているところが多い。会社を運営するうえで「PDCAサイクル」の考え方は欠かせない。

是非とも経営者を志す諸氏は、数字が苦手だとか、数字を見ると頭が痛くなるなどと言わず、積極果敢なチャレンジ精神で自社の玉手箱である財務諸表を紐解いてもらいたい。そこにはきっと経営のヒントが隠されている。

今回の講師陣の言葉を借りるなら・・・「成功」の反対言葉は「失敗」ではなくて、「何もしない」だそうである。

Made in ちゅうごく

株式会社シーオーテック

代表取締役 小出 亨 氏

今回は広島市の株式会社シーオーテックの小出社長にお話を伺いました。30歳の時に創業され、現在50歳。趣味はゴルフ、明るく元気な小出社長のお話を伺います。



小出社長

創業の経緯を教えてください。

私の職歴は色々ありまして。短大を卒業後ディーラーに入社し、3年間自動車の販売を致しました。その後は損害保険代理店を始め、米屋、野菜の移動販売、骨董屋や無店舗電気店等を経て、平成元年1月にそれまで無店舗で行っていた電気店を店舗として開設し、同時に有限会社コイデ商会として法人化しました。

ところが大型店の出店が相次ぎ、売上不振で2年連続赤字になったことをきっかけに、平成3年より電気通信工事業に参入しました。その中で、通信衛星の工事にも携わり、知識を習得したのです。

しかし、平成16年頃より公共工事の減少に伴い、通信工事業界の競争激化で受注金額が大幅に下落しました。翌年、下請け工事中心の通信工事業に限界を感じ始め「仕事は捨てるものではなく作るもの」をモットーに、工事で得意分野であった通信衛星関連の業務に取り組むことにしました。そして昨年、三菱商事系通信衛星会社である宇宙通信株式会社と、パートナー契約を締結しました。衛星回線の再販を行うため昨年12月中国総合通信局に電気通信事業の届出も完了し、現在に至ります。

どういった事業をされていますか？

通信衛星を利用したインターネット接続

通信衛星を利用したインターネット接続のレンタル

通信衛星を利用した緊急地震速報配信サービス

5G帯 FWA 広域無線 LAN システム

基本的に今まで無理とされていた、ブロードバンド回線の未普及地区（山間部、離島）でのインターネット接続など、「不可能を可能にしたい」をテーマにサービスを提供しています。

今、一押しの製品は？

今年の10月1日に気象庁が一般配信を開始する『緊急地震速報』に関連したサービスです。これは危機管理・BCPの観点から、公共交通機関・医療関係・公共性の高い企業をはじめ、一般企業においても必要なものだと思います。

それとは別に、総務省が2010年度までにデジタルディバイド解消に向けた動きを行っていますが、弊社が扱っている『衛星利用のインターネット接続』や『5G帯 FWA 広域無線 LAN』はまさに今からの商品でしょう。

同時に、その衛星インターネットを短期的に利用したい方のために、弊社オリジナルサービスのレンタルプランも用意しております。



無線 LAN
緊急地震速報



製作されたきっかけは？

弊社の得意分野である衛星関連を生かし、「誰にも出来ない事を自分達で可能にしたい！」とずっと考えていました。

以前より取引のある宇宙通信株式会社が一般向け衛星利用のインターネットサービス開始時に、弊社も参入を試みたのですが、やはり衛星を使うとなれば非常にコストがかかってしまいます。又、お客様は購入後にもしも不要な際、処分に困るのも必至です。そこで、「必要なとき必要なだけ利用して頂けるサービスがあればいいのでは」と考えたのがきっかけです。

しかし事業化するにあたり、前例の無いサービスだけに法律の問題や規約等、沢山のハードルにぶつかってしまいました。



双方向衛星アンテナ

その製品の市場での優位性は？

衛星を利用したビジネス自体、競合他社は少なくレンタルに関しては全国で弊社だけです。それだけに皆様知って頂くための苦労は多いですが、やはり競合他社がないというのは絶対的に有利であると思っています。多数の同業他社と競合してしまうと、結果的に価格勝負となり、受注しても薄利というのが現実です。

衛星インターネットは西日本で弊社だけ、レンタルに関しては全国で弊社だけのサービスで、「オンリーワン企業」として優位であると思います。

どのような方(企業)・どのような市場を対象とされていますか？

地震速報に関しては、公共性の高い企業様が対象になります。衛星インターネットについては、

現在デジタルディバイドエリアの全域がターゲットです。総務省が2010年までにすべてのデジタルディバイド解消を宣言し、現在はCATV会社やNTT等のキャリアが動いていますが、採算を考えるとすべてのエリアを網羅することは困難です。その採算から外れ、「隙間」となったエリアが弊社のサービスエリアになります。現在ある自治体にこの衛星インターネットの設備と無線LANを組み合わせた設備を提案し、大学と共に研究中です。年内に弊社・大学・自治体で実証実験を行う予定で動いています。成功すれば他自治体にも営業展開する予定です。

衛星インターネットレンタルに関しては、山間部や離島などで工事を行っている建設会社や、デジタルディバイドエリアで一時的に事業を行う企業・団体等、「一時的に監視したい」「山の中の事務所で会社のサーバーにアクセスしたい」といった要望のある企業様を対象としています。

御社で苦勞されていることは？

「新しいことを始めるということは、そう簡単にはいかないなあ」と思うのが本音です。必要としている人・企業の潜在ニーズは沢山あるはずですが、「知ってもらうこと」がスタートです。弊社をどうやって認知して頂くかということに一番苦勞しています。そのために、色々な場で展示会に参加したりホームページを頻りに更新したり、出来る限りの努力をしています。



大分防災展での様子

今後の展開はどうされる予定ですか？

とにかく、できる限り多くの方に弊社のサービスを知っていただきたいですね。そのための展示

会参加や広告など、積極的に取り組んでいきます。同時に衛星を利用した弊社ならではのサービス（商品）も増やして行きたいですね。

1 日も早く弊社サービスを皆様に認めて頂き、早い段階で軌道にのせたいですね。3年以内には現在の工事部門と分社化をし、新事業としての会社を立ち上げるのが目標です。上場も夢のまた夢ですが、夢はかなえるために見るものです。いつかは現実となるよう努力あるのみですね。

最後に一言お願いします。

周南ベンチャーマーケット様には大変お世話になりありがとうございます。他のベンチャーマーケットに出展した際に声をかけていただいたお陰で、広島に近い場でのPRも可能となり、とても感謝しています。

これからも、一人でも多くの人との出会いを大切に、小さなチャンスでも大きく羽ばたけるよう、常に前も見て努力していくつもりです。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

< 会社概要 >

商号	株式会社シーオーテック
主な事業内容	通信衛星を利用した各種サービス、電気通信事業、電気通信工事業
住所	広島県広島市佐伯区利松 3-25-38
電話番号	TEL 082-927-6696 FAX 082-927-6697
代表者	代表取締役 小出 亨
従業員数	27名
URL	http://planet-net.jp

周南市市民交流センタービジネスサポートコーナーブース入居者募集

周南市では徳山駅ビル3階、市民交流センタービジネスサポートコーナーに、起業家を志す方々に新たな産業創出の場と機会を提供するため、インキュベーション施設を開設しています。

周南市市民交流センターで事業を始めませんか？

資格 / これから起業、あるいは創業5年未満で新事業、新分野に新たな展開を考えている人
組合、特定非営利活動法人は除きます。なお、物販及び飲食業としての使用はできません。

所在地 / 山口県周南市御幸通2 - 28市民交流センター(徳山駅ビル3階)

募集ブース / 2室

使用料 / Aタイプ 月額 10,000円 (税込) Bタイプ 月額 10,450円 (税込)

使用期間 / 最長 3年(1年毎に更新審査あり)

申込み / 10月31日(水)までに必要書類を提出
(平成20年1月以降入居可能)

書類を提出していただいた後、入居審査がございます。

問合せ / 株エス・ケイ・ベンチャーズ もしくは
ビジネスサポートコーナー(0834-33-7703 村中まで)



第15回周南ベンチャーマーケット開催！

去る平成19年9月11日(火)に「第15回周南ベンチャーマーケット」を周南市にて開催した。



徳山工業高等専門学校 校長 平野千博氏を講師に迎え、「科学技術政策と徳山高専」と題して講演を行った。

講師の科学技術庁での勤務経験から科学技術人材の養成強化政策の概要と必要性、それに対応する高専の役割と実績、現在の状況などを説明。今後の徳山高専の取り組みや地域との連携を進めておられる教員の方々の取り組み・成果を紹介された。今回、徳山高専ブースとして風向・風速計「データロガー」とLED制御を展示し、取り組みを多くの方に紹介した。



今回のブース展示はプレゼンテーション企業を含む18社により行われた。各ブースでは実際に商品を手にとり見てみることも使用して体験することができ、活発なPRが行われていた。

プレゼンテーションは5社行われた。

多機能フィルター株式会社 (下松市)

従来の工法とは違い、裸地斜面(法面)を保護しながら、生態系の調和が図れる在来郷土植物による緑化が進められる「多機能フィルター」の試験や施工された実例などを紹介、総合環境ビジネス業における今後の展開などを説明した。



株式会社フォノグラム (広島市中区)

企業のホームページにおいて、利用者も検索しやすく企業の見せたい情報を優先的に表示させることができる高機能サイト内検索システム「ピラニア」を紹介した。

サークルテック株式会社 (広島市西区)

従来のクリーニング業のシステムとユーザーニーズの多様化に適應する新しいシステム「せんたくポスト」の製品・サービスの紹介。

ビジネスモデルの具体的な提案を通して業務提携や販路拡大、パートナー企業を募った。

株式会社オンネット・システムズ (東京都台東区)

基幹業務システムの開発、構築を行ってきた実績と提供するサービスの紹介。実際に山口県内で利用されている事例をあげ、遠隔操作が可能であることなど説明。今回は代表取締役の重永氏が山口県出身のため、将来的に山口県で事業所を開設したいとの志があり業務の提携や協業企業を求めた。

有限会社この街 (周南市)

周南市市民交流センター ビジネスサポートコーナーの入居企業であり、地域社会活性化をコンセプトとした「この街プロジェクト」の概要や目指している方向性、今後の事業の展開などを説明。協力していただける企業、個人を広く求めた。



その後、ビジネス交流会が行われ、活発な交流の後、盛況のうちに終了した。

詳しい内容は周南ベンチャーマーケット協会ホームページ (<http://www.shunan-vm.gr.jp/>) をご覧ください。

次回は冬頃開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

弁理士：井上浩の知財小話



< 小野田あさり >



所長：井上 浩

平成18年4月1日から地域団体商標制度が導入され、「地域名称」+「商品（役務）」の名称から成る商標について地域団体商標として登録を受けることができるようになりました。

山口県でも「北浦うに」と「下関うに」がこの制度を利用して商標が出願され、既に登録されています。

この制度が始まるまでは原則、「地域名称」と普通名称から成る「商品（役務）」の組合せでは商標が登録できないことになっていました。

というのも、商標権は独占権なので、特定の個人や団体に、「地域名称」や、普通名称から成る「商品（役務）」の商標登録を認めてしまうと、その地域に住む商標権者以外の業者さんなどがその地域の名称を使用しながらその「商品（役務）」を販売したり提供したりすることができなくなってしまふからです。

とはいえ、「地域名称」+「商品（役務）」の名称から成る商標がこれまで全く登録されなかったという訳ではなく、例えば、商標自体を個性的なものしたり、その商標を使用する主体（団体）を明確にすることによって登録される場合もありました。例えば、「松坂牛」や、「関さば」、「関あじ」などです。いずれも有名どころですね。

そして、なんと「小野田あさり」も登録されていたのです（商標登録第4615351号）。私もつい最近知ったのですが...

この「小野田あさり」は日本テレビ系列のテレビ番組「どっちの料理ショー」にヴォンゴレロツソの食材として紹介され、大人気になったのは記憶に新しいですね。（出典：フリー百科事典「ウィキペディア（Wikipedia）」）

でも、この「小野田のあさり」、ナルトビエイに捕食されてしまい、2003年から4期連続休漁状態で、今となっては幻の食材（？）となっているようです。商標は、その製品の品質の高さなどによって信用が化体することで価値を生みます。休漁ではせっかくの「小野田あさり」のおいしさも消費者に伝わりません。商標の信用維持のためにも山口県の名産の復活を心から願っている次第です。「小野田あさり」、ガンバレ!!!!

（維新国際特許事務所）

〒753-0077 山口市熊野町 1-10 NPYビル8F
TEL:083-901-2233 FAX:083-901-2266

21世紀の
エジソンを
山口から

<http://www.iipi.jp>

資産運用
相談コーナー
好評お取扱い中

ライフプランにあわせて上手にお金を運用

「さいきょう」で資産づくり

あなたのライフプランを
お聞かせください。

お客様のライフプランにあわせて
経験豊富な資産運用アドバイザーが
お客様のさまざまなご相談にお応えし、
最適なマネープランをご提案いたします。



資産運用相談コーナー開設店舗
(営業時間/平日9:00-15:00)

新下関支店 宇部支店 湯田支店 末武支店 岩国支店 桜木支店
0832-57-0385 0836-31-4183 083-932-2251 0833-41-6511 0827-21-8211 0834-28-4511

●フリーコール：0120-709-319 (受付時間：平日 10:00-17:00) ●E-mail：call@seiyobank.co.jp

あなたのあしたに
西京銀行

—お知らせ—

編集部では、「さいきょうベンチャーリポート」に掲載させて頂ける企業を募集しています。

「取材に来て欲しい！」

「自分の会社も載せたい！」

「この商品をアピールしたい！」

と思われましたら、ぜひ編集部までご連絡下さい。

たくさんのご応募お待ちしております♪

また、記事へのご意見、ご感想もお寄せ下さいませ。

私たちはこれからも、より良い紙面作りを目指していきます。

掲載企業へのお問い合わせも株式会社エス・ケイ・ベンチャーズ
にお気軽にご連絡下さい。

「さいきょうベンチャーリポート」第50号

平成19年10月1日発行

発行元：株式会社エス・ケイ・ベンチャーズ

〒745-0015 周南市平和通1丁目11の2

TEL0834-33-2661 FAX0834-33-2662

毎月1日発行